

資料 3

西東京市公民館運営審議会
令和6年度第10回定例会

令和6年度 公民館主催事業報告書

公運審提出日 令和7年3月19日

NO	実施館	事業名	期間・回数	参加者数	事業内容	主な講師等
1	田無	子育て中の女性のための講座 (保育付き) 健康な身体をつくる ～栄養学の基本・添加物のない 調理・日常生活が楽になる身体 の使い方～	5月28日から 10月30日 火曜日 10時から12時 全14回	延べ119人	子育て中の保護者や孫育ての方など健康に関心のある人を対象に、栄養学の基本から食の大切さを知り、無添加でバランスの良い献立をつくり「食べ物が健康な身体をつくる」ことを学び、古武術から日常生活が楽になる「カラダ」の使い方を習得し、健康な身体をつくることにつながった。	近藤恵津子（NP0法人コミュニティースクール・まちデザイン理事長、加工食品診断士） 本田紀子（管理栄養士、元中学校教員、調理師養成学校講師） 甲野陽紀（身体技術研究者）
2	田無	夏の中学生ボランティア (SDGsサポーター編)	6月5日 水曜日 6月9日 日曜日 7月7日 日曜日 7月14日 日曜日 7月15日 月曜日・祝日 7月17日 水曜日 6回	延べ31人	・石神井川の事前学習会 ・石神井川ごみ拾い清掃 ・親子理科読アシスタント ・SDGsロビーフェスタアシスタント、語り合い交流 ・振返りの会、防災体験学習	小野修平（ジョージ防災研究所所長）
3	田無	田無公民館 曜日別活動サークル1日ロビー見学体験会	令和6年6月11日 火曜日 9月18日 水曜日 10月17日 木曜日 11月15日 金曜日 12月14日 土曜日 令和7年1月19日 日曜日 2月17日 月曜日 7回	参加団体 22団体 見学者 延べ140人	・会員募集中の田無公民館利用団体で、開催日該当曜日に活動する団体が、田無公民館ロビーにて活動報告や発表を行い、興味ある市民が見学体験した。 ・団体打合せ・報告会を行い、実施の目的、手順、団体の感想意見、見学者の声等を全体で共有した。	

4	田無	小学生親子料理講座 子育て中の男性あつまれ♪パ パッと、ごちそうレシピ ～秋の思い出づくりクッキン グ！～	9月16日 10月14日 11月4日 月曜日・祝日 9時40分から12時30分 全3回	延べ92人	父親と小学生の親子と一緒に他の親子 と協力しながら「作って食べる」体験 をする。	中 美穂（管理栄養士、料理 家、フードコーディネー ター） 阿納 理恵子（管理栄養士）
5	芝久保	サークル見学体験会 こうみんかんで地域デビュー	11月9日（土曜日）から 12月22日（日曜日） 40回	延べ11人	公民館で行われているサークルの活動 を市民に知ってもらうきっかけを提供 し、公民館で様々な活動をしている サークルと「学びたい」「何かをやり たい」「地域デビューをしたい」と思 う市民をつなげる機会した。サークル の活動紹介とメンバー増員の機会を提 供した。	
6	谷戸	インクルーシブな社会をめざす 講座 ボッチャでなかまづくり ～親子でボッチャ～	令和6年10月13日（土曜 日）から 令和7年2月9日（日曜 日） 10時から12時 全8回	延べ123人	・ボッチャ競技を知るだけでなく、日 常あまり関わることのない、地域で ボッチャを楽しんでいる様々な人たち とボッチャと一緒に楽しむことで、多 様性や共生社会について関心を持つ機 会となった。 ・小学生親子ボッチャ大会では、ボッ チャ好きが集まり、お互い刺激を受け 合い、良い交流ができた。	庵木菜名（第26回日本ボッ チャ選手j兼B2優勝者） 鱒渕羽翔（Dannacy アドバイ ザー） 岩崎鉄也（BOCCA BASE TOKYO）
7	ひばりが丘	親子で楽しむ講座 第1回 西東京市カロム大会	8月25日 日曜日 14時から16時	10組21人	カロムを楽しむだけでなく、カロムの 技能を高めてきた子が、その成果を発 揮する場として「第1回 西東京市カ ロム大会」を開催した。本大会は、親 と子、兄弟や友達同士が協力して相手 ペアと対戦する貴重な機会となった。 また、出場チームの応援を可能とした ことで、参加者の家族や友達が応援に 駆け付けてくれた。その結果、大会は 大いに盛り上がり、カロムの楽しさを 伝えることに繋がった。	四畑吉規（CFCカロムファン クラブ代表、CFC横浜支部推 進部長） 柿沼 靖（CFCカロムファンク ラブ理事、北関東子どもカロ ム大会開催事務局長）

8	ひばりが丘	趣味講座 初心者のためのウクレレ講座	令和6年9月4日から 令和7年2月19日 水曜日 13時30分から15時30分 全12回	延べ165人	ウクレレをツールに初心者でも楽器演奏の楽しみを味わうことのできる場を提供。講師の指導によって基礎から演奏技術を習得し、相互に教え励まし合いながら3月の「ひばりが丘フェスティバル」で学習成果の発表を行った。	小泉裕洋（ハプナ・ウクレレクラブメンバー、ヤマハ音楽教室ウクレレ担当講師）
9	ひばりが丘	女性のための講座（保育付き） 女性の学び合いCafé ～先の読めない時代を生きるヒント～	令和6年10月4日から 令和7年2月21日 金曜日 10時から12時 全15回	延べ212人	・前半60分は社会・経済・教育・心理的視点から女性の生きづらさを捉え返すため専門的な知見から学んだ。 ・後半60分は受講者同士が話し合い、講師の話をそれぞれがどう捉えたか受講者同士が視点や気づきを共有し、自分自身の生き方や価値観を再構築するための探求を行なった。	中山智香子（東京外語大学大学院教授、『大人のためのお金学』著者） 和田 悠（立教大学教授） 城田美好（子ども白書編集委員、保育士） 小笠原 舞（保育士起業家） 館野繁彦（地球惑星科学博士、保育士、保育ナチュラリスト） 早川智大（NPO法人サンカクシャ居場所マネージャー） 小川和子（NPO多言語多読）
10	ひばりが丘	【共催事業】 子どもの課題を考える講座 不登校の子どもに寄り添うために ～親の役割を考える～ ※「西東京市不登校情報ネットワーク ハートライン♡にしとうきょう」との共催	2月11日 火曜日・祝日 13時から16時	延べ44人	不登校の子どもの気持ちや行動の理解、子どもに寄り添う親の役割について、多くの事例を交えながら学ぶ機会となった。また、少人数のグループでじっくり話し合う時間を設け、先輩保護者の体験談や同じように悩む不安を抱える保護者同士の交流の場となった。「ハートライン♡にしとうきょう」作成の『不登校に関する情報冊子2025』を配布し、不登校に悩む子どもたちや悩んでいる親をサポートする場が地域にあることを伝える機会となった。	杉山雅宏（東京家政大学人文文学部心理カウンセリング学科教授）

11	保谷駅前	環境講座 1 都市林・屋敷林で四季を感じる ＜初夏編＞ 環境講座 2 都市林・屋敷林で四季を感じる ＜秋編＞	1 6月29日 7月6日 土曜日 10時から12時 全2回 2 10月26日 11月2日 土曜日 10時から12時 全2回	延べ67人	1 田無演習林での現地学習（講義、フィールドワーク）を通して、初夏の都市林の様子と気候の経年変化の影響を学んだ。 2 田無演習林及び高橋家屋敷林での現地学習を通して、秋季における都市林、屋敷林の変化の様子を学んだ。	1 前原 忠（東京大学大学院附属田無演習林助教） 東京大学大学院附属田無演習林スタッフ 2 前原 忠 堤 順子（高橋家屋敷林保存会会長） 高橋家屋敷林保存会会員
12	保谷駅前	【共催事業】 地域講座 瞽女唄が聞こえる ※高橋家屋敷林保存会との共催	3月6日 木曜日 ①11時から12時 ②14時から15時 2回	延べ51人	保谷市史編纂委員会が編集出版した「下保谷の民俗」の中に「昭和の初めまで、毎年三月頃になると大泉出身の瞽女が弟子を連れて下保谷に来ていた」という記述がある。その歴史の追体験として、また、誰もが学べる学習機会として実施した。	小関敦子（越後瞽女唄伝承者「萱森直子」に師事。同氏主宰「さずきものの会」所属）
13	保谷駅前	多文化共生講座 避難民・難民支援から多文化共生、平和を考えるⅡ	11月20日から 12月11日 水曜日 19時から21時 全4回	延べ19人	・講義とワークショップを通して、避難民・難民の置かれている状況、想いや喪失感等を知った。 ・西東京市での多文化共生の今を学んだ。	ダリア（ウクライナ避難民当事者） 天沼耕平（国連UNHCR協会職員） 別當紀人（ウクライナ避難民運営食堂Nadiya代表） 文化振興課職員 NPO法人西東京市多文化共生センター